

# 衆議院財務金融委員会ニュース

平成 22.4.14 第 174 回国会第 13 号

4 月 14 日（水）、第 13 回の委員会が開かれました。

## 1 理事の辞任及び補欠選任

- ・理事の辞任を許可し、補欠選任を行いました。  
辞任 理事 鈴木 克 昌君（民主）  
補欠選任 理事 池 田 元 久君（民主）（理事鈴木克昌君今 14 日理事辞任につきその補欠）

## 2 金融商品取引法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 44 号）

- ・亀井国務大臣（金融担当）から提案理由の説明を聴取しました。
  - ・菅財務大臣、亀井国務大臣（金融担当）、大塚内閣府副大臣及び野田財務副大臣並びに参考人に対し質疑を行いました。
- （参考人）日本銀行理事 中 曾 宏君

（質疑者及び主な質疑内容）

### 富 岡 芳 忠君（民主）

- ・G20 などの国際会議で日本はもっと発言すべきだと思うが、過去の国際会議で我が国は金融規制についてどのようなことを主張してきたのか伺いたい。
- ・清算機関の意義と、取引情報の具体的な活用方法について伺いたい。
- ・今後の金融市場の進むべき方向に対する亀井金融担当大臣の見解を伺いたい。

### 橋 本 勉君（民主）

- ・清算機関を整備することでリスクを軽減できるのか。
- ・清算機関の具体的な認可方法及び国内清算機関と外国清算機関の連携方法について伺いたい。
- ・取引情報蓄積機関にはどのような情報が蓄積されるのか。また、その情報が海外へ流出する懸念はないのか伺いたい
- ・日銀のデフレに対する認識と、他国と比較した際の金融政策の評価について伺いたい。

### 野 田 毅君（自民）

- ・デリバティブ商品の規制という観点から見た今回の金商法改正案の趣旨について亀井金融担当大臣に伺いたい。
- ・財源の確保なくマニフェストの実現を図ることは国債に対する市場の信認を失うことになり財政を一層悪化

させるという認識に変わりはないか、菅財務大臣に伺いたい。

- ・中期財政フレームには、プライマリーバランス等の数字だけではなく具体化するロードマップが示されなければ市場の納得を得られないと考えるが菅財務大臣の見解を伺いたい。

### 村 田 吉 隆君（自民）

- ・金商法の立法趣旨と金融改革プログラムの評価について亀井金融担当大臣に伺いたい。
- ・郵貯の預入限度額引上げは、金商法を立法した背景と整合性がないのではないかと、亀井金融担当大臣に伺いたい。
- ・中小企業金融円滑化法の評価と効果について亀井金融担当大臣に伺いたい。

### 竹 本 直 一君（自民）

- ・銀行は本来の期待される役割を果たしているかどうか亀井金融担当大臣の認識を伺いたい。
- ・改正案では店頭デリバティブ商品の取引情報を清算機関等を通じて当局で保存するが、当局はモニタリングし、不可解な取引があれば何らかの指導を行うのか。また、金融庁は取引情報の十分な実態把握、蓄積ができる能力があるのか。
- ・清算機関は日本の機関、外国の機関、日本外国連携の機関の 3 つがあるが、それぞれのメリット、デメリットについて伺いたい。